

前橋市元総社公民館 公民館運営推進委員会

令和6年度 第2回委員会

日 時 令和7年3月14日（金） 午後2時

場 所 元総社公民館 第1会議室

会 議 次 第

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 議 事

(1) 令和6年度元総社公民館の事業実績について

①公民館の事業概要	・・・	1頁
②事業費等の状況	・・・	23頁
③公民館の利用状況	・・・	24頁
④各種団体活動事業	・・・	26頁
⑤地域寺子屋事業	・・・	27頁

(2) 令和7年度元総社公民館の運営について

・・・	29頁
-----	-----

(3) 優良公民館文部科学大臣表彰について

・・・	31頁
-----	-----

※公民館運営推進委員会委員名簿	・・・	32頁
-----------------	-----	-----

4 意見交換

5 閉 会

(1) 令和6年度元総社公民館の事業実績について

①公民館の事業概要

○子育て、親子支援

元総社すこやか学級

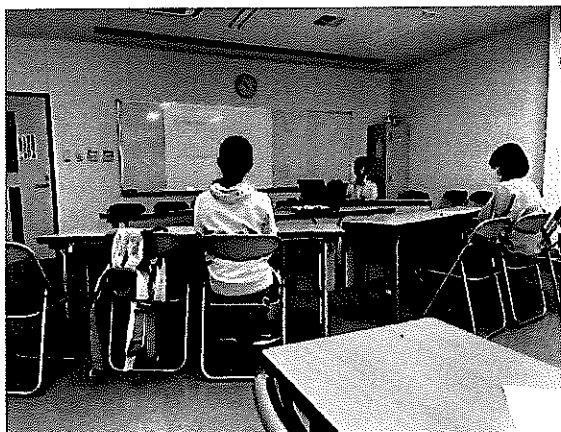
整理番号	1	令和 6年 9月30日 (月)	会 場	元総社公民館 和室
学習課題	たこさんとあそぼう！ ～秋の森のお買い物ごっこ～	学習時間	自 10時00分 至 11時30分 (計1時間30分)	
		出席者	母子4組、協力者4名	
講 師	たこさんのおはなしや 主宰 田子 智代	教材用具	絵本、指人形、紙皿、ストロー、折り紙、シール	
協力者		保健推進員、ボランティア連絡会	記 録 者	谷内田
学習の概要 (学習した内容の概略を記入する。)				
1 小林館長挨拶／事務連絡				
2 講師自己紹介・講座開始				
3 参加者自己紹介				
子どもの名前や年齢を言ってもらおうと共に、お母さんのお名前を言ってもらう。				
4 わらべうた、人形劇、絵本を使った遊び				
「がたがたバス」「ぐー・ちょき・ぱーで何作ろう？」をみんなで歌いながら体を使った遊びを行った後に、こぶた、きつね、ためぎ、ねこの人形で動物の鳴き声をまねる。絵本を使って、体を動かす遊びを行う。				
5 お店屋さんごっこで材料を集め、メッセージボードとかぼちゃスティック作成				
りすのお店屋さんでどんぐり、きのこ、かぼちゃなどを子どもが「くださいな」と声掛けして集め、その素材をもとにメッセージボードとかぼちゃスティックを親子で作成する。				
6 絵本「しあわせになあれ」とパンダちゃんの指人形で「さようなら」のご挨拶				
反省事項(感想及び意見)				
講師が参加者の様子を見ながら、歌と体あそびでみんなを和ませ打ち解けられる雰囲気を作っていた。				
また、変わりやすい子どもの興味をうまく誘導しながら進めていく姿が印象的だった。初めは母親と自分の世界だった子が、だんだん外の事に興味を持ち始め、自ら触れていく様子が見られとても興味深かった。				
なかでも、お母さんが必要としている材料をお店屋さんから一生懸命集めている姿が可愛らしかった。				



○子育て、親子支援

元総社すこやか学級

整理番号	2	令和 6年10月9日(水)	会 場	元総社公民館 第1会議室
学習課題	ほめて育てるコミュニケーショントレーニング(ほめトレ!)入門		学習時間	自 10時00分 至 11時30分(計1時間30分)
講 師	子育て支援課 齊藤 太一 主任		出席者	母子2組、協力者9名(託児)
			教材用具	パソコン、プロジェクター、延長コード
協力者	保健推進員、ボランティア連絡会		記録者	谷内田
学習の概要(学習した内容の概略を記入する。)				
1 講師あいさつ・講座開始				
2 「ほめトレ」とは～良好な親子関係を築き、しつけを効果的に行う。…ビデオを見ながら学ぶ。				
ほめる～①出来ていることをほめる。(出来ていることを見逃さない。当たり前に出てくることをほめる)				
②できた行動を具体的にほめる。(認める。)③感謝や喜びの言葉を伝える(ほめられたと感じる)④結果よりも動きや努力を認める。(過程を認める。自己肯定感が生まれる。)⑤人と比べない。(その子なりに進歩があったことをほめる。)⑥共感する。(共感的な言葉がけ、オウム返しをすることで安心感を与えられる。				
例)「痛いよ～」「痛いね」)				
しつけを効果的に行うためのコミュニケーション～①あいまいな表現ではなく、具体的に伝える。(ちゃんとして…何を?)②予め指示する場合も具体的に伝える。(指示はなるべく短く。)③禁止するだけでなくどうしたらよいか伝える。(具体的に、子どもに選択肢を与える。)④繰り返し伝える。(気長に接する。)⑤関係のないことは言わない。(短い言葉で伝える。)				
反省事項(感想及び意見)				
講師自身、3人のお子さんを現在進行形で育てていることから、経験者側からの話を織り交ぜてしていたことにより、受講者の方々も身近に感じて理解を深めていた様子だった。受講人数が少なかった事を生かして、もう少し受講者の現状や悩んでいることを引き出すような形をとっても良かったかなと感じた。				



○子育て、親子支援
元総社すこやか学級

整理番号	3	令和 6 年 1 0 月 1 6 日 (水)	会 場	元総社公民館 和室
学習課題	それいけ！まえばし出前講座 「きらきら笑顔で親子遊び」		学習時間	自 1 0 時 0 0 分 至 1 1 時 2 0 分 (計 1 時間 2 0 分)
			出 席 者	母子 2 組、協力者 4 名
講 師	こども支援課 子ども発達支援 センター (保育士) 山崎 佐恵子、中隋 美穂		教材用具	おもちゃ、ビニールトンネル、ボール 新聞紙等
協 力 者	保健推進員、ボランティア連絡会		記 録 者	谷内田
学習の概要 (学習した内容の概略を記入する。)				
1 事務連絡／講師紹介				
2 親子でふれあい遊び～「始まりの歌」「アンパンマン」「一本橋」「大根一本」「ぞうきんの歌」「パン屋さ んでお買い物」「バスに乗って」などの歌を歌いながら指先を使って子どもにふれあうことを多く取り入れ た歌あそびを行う。				
3 タテの動きを取り入れた遊び～カウントダウンで発射するロケットをイメージし、子どもの体を低い位 置から高い位置に移動させる高低差を生かした遊びを行う。				
4 新聞紙びりびり遊び～古新聞をびりびりと音と立てて縦横に破いていく。破いたものを集めて雪を降 らせるように上からかける。かたづけを促す共にビニール袋に入れてボールとして使って遊ぶ。				
5 身近な素材できる手作りおもちゃの紹介～ペットボトルのフタを使った巻きずし等の知育玩具。				
5 体を使った遊び～ビニールトンネル、音が鳴るマットなど五感を使って親子で遊ぶ。				
6 絵本を使った遊び～「お弁当バス」「うずらちゃんのかくれんぼ」など見て楽しむ絵本で遊ぶ。				
反省事項 (感想及び意見)				
当日は2組の参加であったが、様々な動きを盛り込んだ遊びをたくさん教えていただき親子共々終始 楽しんでいただけた様子だった。途中、講師の先生が気を利かせてお母さん同士の会話のきっかけを作ってく れたことにより情報交換が行われていた。大人同士はコミュニケーションを取るのが難しいが、かえって 子ども同士の方が遊びを通じて仲良くなるきっかけを作るのが上手だったのが印象的だった。				



○子育て、親子支援 ベビープログラム

整理番号	2	令和6年6月28日(金)	会 場	前橋市清里公民館 和室
学習課題	子育て・親子支援事業 ベビープログラム第2回		学習時間	自10時00分 至12時00分 (計2時間)
講 師	前橋市こども支援課職員 ファシリテーター 池田 亜美 保健師 北森 瑞穂 保健師 補助 佐々木 千春 保健師		出席者	親:11人 子:11人 (欠席0組)
			教材用具	テキスト、ボード、マーカー、プロジェクター、掲示物他
			記録者	元総社公民館 剣持

学習の概要(学習した内容の概略を記入)

- 1 先週参加した感想やその後の1週間の様子を1人ずつ発表。
- 2 親子のふれあいタイム(名前を呼びながら抱っこする。まずはいつもの抱っこ。いつもとは違う抱っこ(横抱きなら縦抱き)。やりやすい抱っこで立つ。周りをみたりする。やさしく「ぎゅ」、そのまま座る。声をかけながらそっと寝かせる。)
- 3 ニックネームで呼び合う練習のため、リレー形式で自己紹介(Aです…Aさんの隣のBです。Aさんの隣のBさんの隣のCです…)1周したら反対周りでもう一度。
- 4 1日の過ごし方(24時間どのように過ごしているかシートに円グラフ風に記入する。2~3人のグループになって話し合う。5~6人のグループになって同様に話し合う。)
- 5 DVD鑑賞「第2回 赤ちゃんのいる生活」(DVDを見て印象に残ったキーワードをグループで話し合う。)
- 6 DVDの内容のテキストの該当ページの確認
- 7 最後のふりかえり(本日学んだ内容についてや参加して今日思ったことを1人ずつ発表)
- 8 30分の交流タイム

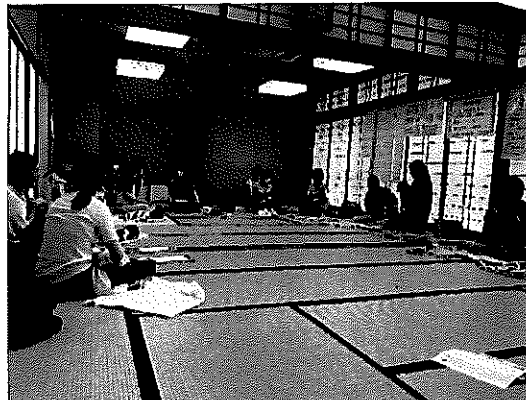
反省事項(感想及び意見)

先週参加した感想やその後1週間の様子など一言ずつでは、「赤ちゃんが初めて寝がえりをした」などの成長がみられたようである。また「夫にも情報共有し、話げできた」など家族間でも講座の内容を活かすなど、よい影響があったようである。

1日の過ごし方では、隣同士は月齡が近い子との配置だったので、他の人がどのように過ごしているのか知ることができ、その後グループで共有することで自分より少し上の月齡の子の話なども聞くこともでき参考になったようだ。

最後のふりかえりでは、「月齡が近いとリズムが似ているが、月齡が高くなるとリズムが変わってくるのが分かってよかった。」「テレビとの関係が学べてよかった。」「自分の生活リズムがいいのか心配だったが、みんな話を聞いて安心した。」などの声がきかれた。

交流タイムでもみんな楽しそうに話していた。



○子育て、親子支援 ベビープログラム

整理番号	3	令和6年7月5日(金)	会 場	前橋市清里公民館 和室
学習課題	子育て・親子支援事業 ベビープログラム第3回		学習時間	自10時00分 至12時00分 (計2時間)
講 師	前橋市こども支援課職員 ファシリテーター 池田 亜美 保健師 北森 瑞穂 保健師		出席者	親:10人 子:10人 (欠席1組)
			教材用具	テキスト、ボード、マーカー、プロジェクター、掲示物他
			記録者	元総社公民館 剣持

学習の概要(学習した内容の概略を記入)

- 1 前回からの一週間で印象に残ったこと、どんな風に過ごしたかななどを一人ずつ発表。
- 2 親子ふれあいタイム(ふれあいマッサージ。足をさする。足をつかんで、ぞうきんをしぼるように足のつけねから足先に軽くマッサージ。足首を持って足がM字になるようにやさしく押す。手も同様に片手ずつマッサージ。手首を持って腕を開いて閉じてする。)
- 3 お題「好きな飲み物」で、同じ好みの人を探してグループを作る。グループを作ったら、なんのグループかを発表して、各自それが好きな理由を言う。
- 4 ワークシートを記入(「からだ・こころの発達」と「あそび・安全」を考えよう)隣同士2人のグループになりどんなことを書いたか話し合う。4人と6人のグループに分かれて話した内容を共有する。
- 5 DVD鑑賞(第3回 赤ちゃんとの接し方。子どもの事故を防ごう・泣くことで伝える他)DVDを見て思ったことを先ほどのグループで話し合い。
- 6 テキストのDVDの内容の該当ページの確認。リーフレット「スマホに子守をさせないで」配布
- 7 今日のふりかえり 今回の感想・思ったことを一人一言ずつ発表。
- 8 30分の交流タイム

反省事項(感想及び意見)

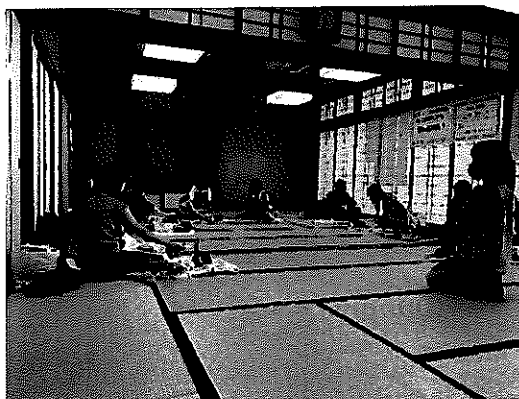
1週間の様子など一言では、「先週学んだことを実践してみた。(テレビをつけない。話しかけるなど)」「他の方の話を聞いて読み聞かせを始めてみた。」などの声がきかれた。

好きな飲物では、「コーヒー」「オレンジジュース」「アルコール」の3つのグループに分かれ、理由や好きな銘柄の発表では、今はコーヒーではカフェインレス、アルコールではノンアルコールで代用しているなど授乳中ならではの話をされていた。

話し合いでは、つついitユーチューブやテレビを見せちゃったたりしている。どうすればいいか考えてしまうなどの声がきかれた。夫に子どもをみてもらおうと必ずユーチューブを見せてちゃって困るという方もいた。ファシリテーターからもまったくだめというわけではないという話もあったので、うまくと取り入れてもらえればと思う。

最後の一言では、子どもが事故に合わないように危ないものを取り除いたり、ガードしたりなど、部屋の環境を整えたいという方が多くいた。

交流タイムでは、みんな楽しそうに話していた。お母さんのリラックスが伝わったのか、泣いていた赤ちゃんたちも終わる頃には気持ちよさそうに寝ていたのが印象的だった。



○青少年体験・チャレンジ活動

プレイルーム元総社

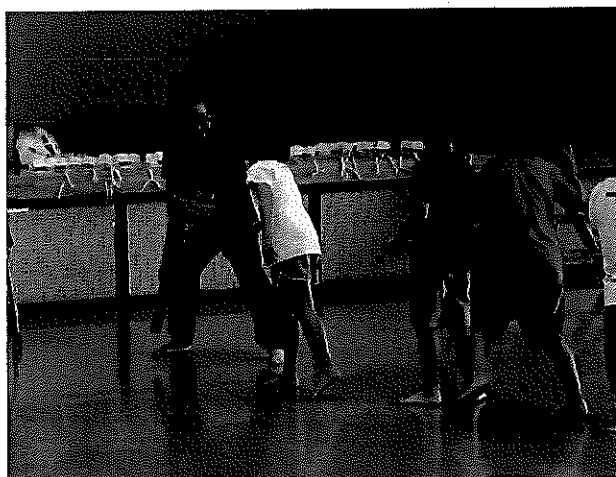
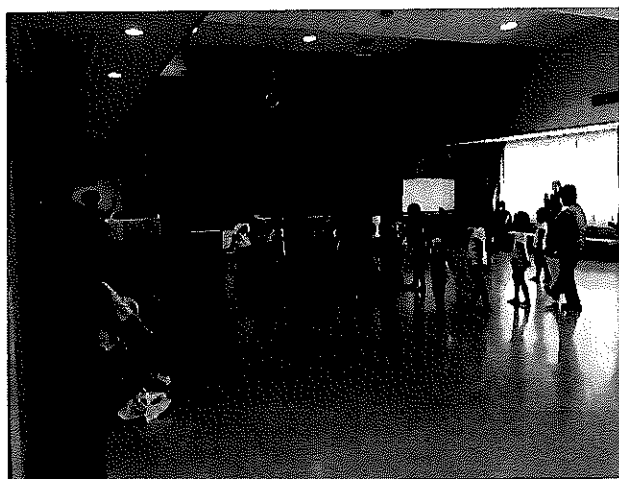
整理番号	1	期日	令和6年6月22日(土)	会場	元総社公民館 ホール
講座・事業名	プレイルーム元総社 第1回『スポーツチャンバラ教室』			学習時間	自 10時00分 至 11時30分 計1時間30分
講師	スポーツチャンバラ前橋道場 大崎 美弥子			出席者	23人(一組) こども13人、その他10人(講師含む)
助言者	—			教材用具	エアースoft剣26 盾2 (講師)
協力者	元総社地区ボランティア連絡会員			記録者	中村 徳雄

学習の概要

- 1【開会】大関会長(ボラ連)あいさつ／公民館担当より事務連絡・講師紹介
- 2【講義】参加者を整理させた後、剣道とスポーツチャンバラの違いについて学習。
- 3【実習】①準備運動 ②基本動作(攻め・防御)の実習 ③講師が盾(ミット)を構え、参加者が順番に打ち込みや防御の実習 ④両腰に紙風船をぶら下げ、男性対女性、無差別で相手の紙風船を叩いて潰す試合形式で実習
- 4【閉会】①講師へお礼の拍手 ②アンケート記入・提出 ③ボラ連からお菓子をもらい解散
- 5【周知方法】公民館報への掲載及び募集チラシのパブレット配信(3小学校)、募集ポスター・チラシの公民館内掲示・設置

反省事項(感想及び意見)

はじめのうち声の小さかったこども達も、ボランティア連絡会員や保護者の協力もあり、教室が進むにつれ声も大きくなり、楽しみながらスポーツチャンバラを習っていた。最後の試合では、腰にぶら下げた紙風船をエアースoft剣で潰されないようホール内を走り回り、息を切らせながら楽しんでいる様子が窺え、アンケートでも「とても楽しかった。またやりたい。」といった感想が多かったので、講座開催のねらいは達成できたのではないかと思います。しかしながら、どうしても試合となると力が入ってしまうため、痛みに耐えきれず途中離脱する参加者が出てしまった。次回は、途中離脱をしなくてすむ対策を講じて実施したい。



○青少年体験・チャレンジ活動

プレイルーム元総社

整理番号	2	期日	令和6年7月27日(土)	会場	元総社公民館 ホール
講座・事業名	プレイルーム元総社 第2回 『こども電気教室～レモン電池～』			学習時間	自 10時05分 至 11時35分 計1時間30分
講師	関東電気保安協会 群馬事業本部 青木 恵 広報担当部長ほか1名			出席者	25人 (一組) こども11人、その他14人(講師含む)
助言者	-			教材用具	電気教室キット、DVD、パソコン、プロジェクター、延長コード(講師) レモン、紙皿(ボランティア連絡会) スクリーン、コードリール、包丁、まな板(公民館)
協力者	元総社地区ボランティア連絡会員			記録者	中村 徳雄

学習の概要

1【開会】大関会長(ボラ連)あいさつ／公民館担当より事務連絡・講師紹介

2【講義】DVDを使用し、電気を正しく安全に使用方法について学習。

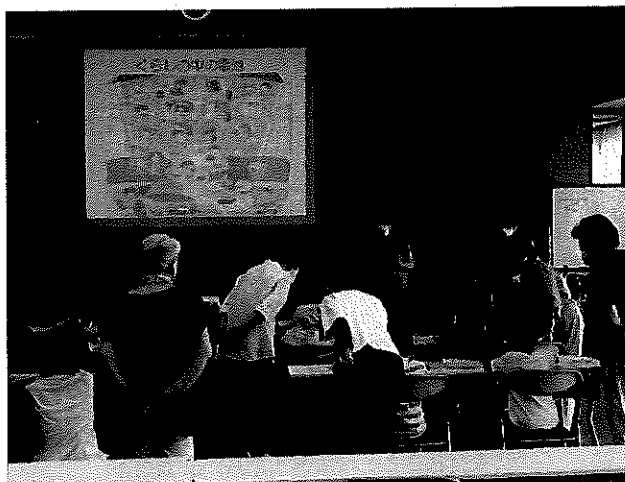
3【実習】DVDを使用しながら、レモン電池キットとボランティア連絡会員がスライスしてくれたレモンで、レモン電池づくり。亜鉛板・レモン・銅板と順番に組み合わせて電線をつなげると、レモン果汁に亜鉛が溶け出す。この時、亜鉛板には電子が残り、その電子が電線を伝わって銅板に移動する。電子の移動する方向とは反対方向に電流が流れて、LED電球が点灯することやオルゴールが鳴ることを体験。また、子ども達が持参したレモン以外の果実や野菜でLED電球が点灯するかなどを実験した。

4【閉会・片付け】アンケート記入・提出・ボラ連からお菓子をもらい解散。

反省事項(感想及び意見)

熱中症警戒アラートが発表される中、参加してくれたこども達と同数のボランティア連絡会員の協力が得られたため、参加者一人ひとりにサポートがつき、誰も置いてきぼりにならず実習を終えることができた。

LED電球の点灯やオルゴールが鳴って声をあげ喜ぶ姿を見ると、開催の目的は達成できたのではないと思う。なお、電気の使い方を間違えるとケガや火災を引き起こすことや省エネについてもDVDで分かりやすく説明してくれたため、電気を正しく安全に使用方法を子ども達は楽しく学べた様子が窺えた。



○青少年体験・チャレンジ活動

プレイルーム元総社

整理番号	3	期日	令和6年11月30日(土)	会 場	元総社公民館 アトリエ
講座・事業名	プレイルーム元総社 第3回 『タオル犬・アヒルづくり教室』			学習時間	自 10時10分 至 11時30分 計1時間20分
講 師	元総社地区ボランティア連絡会 大 関 三枝子 会長ほか会員			出 席 者	23人 (一組) こども12人、その他11人(講師含む)
助 言 者	—			教材用具	ボランティア連絡会:タオル犬・ひよこづくりセット 公民館:ハサミ
協 力 者	元総社地区ボランティア連絡会員			記 録 者	中 村 徳 雄
学習の概要					
1【開会】 公民館担当より事務連絡・講師紹介／大関会長(ボラ連)あいさつ					
2【実習】 大関会長を筆頭に、参加したボランティア連絡会員により実習進められた。					
自分の好きな色のタオルを選ぶところから始まり、まずタオル犬を制作。その後、アヒルの材料					
が数日前に足らないことが発覚したため、その旨の説明を行ったうえ、ひよこを制作。					
最後に、自分たちで制作したタオル犬に名前を付けたうえ発表し終了。					
3【閉会】 ①講師へお礼の拍手 ②アンケート記入・提出 ③ボラ連よりお菓子をもらい解散					
4【周知方法】 ①公民館報への掲載 ②募集チラシのタブレット配信(3小学校) ③募集ポスター・チラシ					
の公民館及び図書館分館内掲示・設置					
反省事項(感想及び意見)					
身近にあるタオルで動物の作り方を学ぶ教室で、参加してくれたこども達は満足してくれるのかと疑心暗鬼であったが、こども達は笑顔を浮かべながら楽しんでいたので安堵した。					
アンケートにおいても、「すごく楽しかったから今度も参加したい。」といった意見がほとんどだったので、					
本事業のねらいは達成できたのではないかと思います。					
今後も、参加してくれるこども達が楽しく学べる教室を模索し、実施したい。					



○青少年体験・チャレンジ活動

プレイルーム元総社

整理番号	4	期日	令和6年12月25日(水)	会場	前橋市元総社公民館 ホール
講座・事業名	けん玉教室 【青少年体験・チャレンジ活動事業】			学習時間	自 10時00分 至 11時30分 計 1時間30分
講師	それいけ！出前講座(職員講師) 図書館 新本館整備室 室長 山崎 隆裕			出席者	31人(一組) 子ども17人、その他14人(講師含む)
助言者	—			教材用具	講師:けん玉、ケンケンパ用リング 公民館:ジョイントマット
協力団体	元総社地区ボランティア連絡会(12人)			記録者	中村 徳雄
学習の概要 年長さんから小学4年生を対象にした体験学習『プレイルーム元総社』(青少年体験・チャレンジ活動事業)の第4回目として開催。					
1 ねらい					
文化的な活動や工作を通して、(1)子どもの豊かな心を育む。(2)学校や学年の枠を越えた交流の場を提供し、仲間づくりを進める。(3)地域交流の場を提供し、地域の絆を深める。					
2 概要					
序盤:けん玉の部位名称や面白いけん玉について学習。					
中盤:けん玉に触れながら、技や遊びを体験学習。					
終盤:講師によるけん玉パフォーマンスを鑑賞。					
3 周知方法					
公民館報への掲載及び募集チラシのタブレット配付依頼(3小学校)、募集チラシの公民館内掲示・設置。					
反省事項(感想及び意見)					
今年で4回目の講座(教室)であったが、相変わらず、参加した子ども達が飽きないような進め方と内容であった。序盤から終盤まで、楽しみながらけん玉の技や遊びを学んでいる様子が要所に窺え、また講師による10連大皿のせまで、こども達が見つめる中、一発で決めて大いに盛り上がった。アンケートでも「楽しかった。」という感想が多く、講座開催のねらいは達成できたのではないかと思いますと共に、より魅力的な教室(講座)を実施できるよう努めていきたい。なお、けん玉は日本が発祥だと思っていたが、フランスが発祥という説もあり、フランス語でけん玉を「ビル・ボケ」ということをこども達と一緒に学んだ。					



○青少年体験・チャレンジ活動

プレイルーム元総社

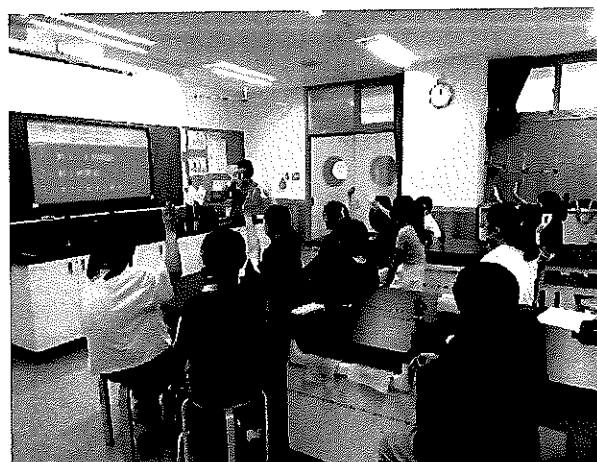
整理番号	5	期日	令和7年2月22日(土)	会場	前橋市元総社公民館 視聴覚室
講座・事業名	フクロウ教室 【青少年体験・チャレンジ活動事業】			学習時間	自 10時00分 至 11時30分 計 1時間30分
講師	あかぎふくろう一家 有限責任事業組合 川 島 志 保			出席者	35人(一組) 子ども23人、その他12人(講師含む)
助言者	—			教材用具	講 師:パソコンほか教材 公民館:スクリーン、プロジェクター、ラミネーター、ハサミ、リリアン糸、色鉛筆等 ボラ連:ラミネート、穴あけパンチ
協力団体	元総社地区ボランティア連絡会(10人)			記録者	中 村 徳 雄
学習の概要 年長さんから小学4年生を対象にした体験学習『プレイルーム元総社』(青少年体験・チャレンジ活動事業)の第5回目として開催。					
1 ねらい 文化的な活動や工作を通して、(1)子どもの豊かな心を育む。(2)学校や学年の枠を越えた交流の場を提供し、仲間づくりを進める。(3)地域交流の場を提供し、地域の絆を深める。					
2 概要 前半:プロジェクターを使用し、フクロウについて学習。 後半:縁起物のフクロウなどの御守づくり体験及びフクロウの鑑賞及び撮影会。					
3 周知方法 1 公民館報への掲載及び3小学校へのタブレット配付。 2 公民館及び図書館分館内での募集チラシ掲示・設置。					
反省事項(感想及び意見)					
過去のアンケートにおいて、参加したい教室としてフクロウ教室が挙げられていたため、今回、『プレイルーム元総社』で開催したところ、応募定員以上の参加があり大盛況であった。					
フクロウについて学んでいる際は、講師より多くのクイズが出題されたが、それに対し、参加者全員が楽しみに大きな声で答え、時には質問をする参加者もいた。また御守づくりでも思い思いの御守を作り、友達同士で見せ合っていた様子が窺え、アンケートでも「フクロウについていろいろ知れてうれしかった。楽しかった。」といった感想が多く、教室開催のねらいは達成できたのではないかと思います。					
今後も、参加することも達が楽しく学べ、開催のねらいを達成できる教室を模索し、実施していきたい。					



○青少年体験・チャレンジ活動

お天気教室

整理番号	1	期日	令和6年5月22日(水)	会 場	市立元総社南小学校 理科室
講座・事業名	お天気教室			学習時間	自 11時35分 至 12時20分 計 45分間
講 師	NHK前橋放送局 気象予報士 新村 美里 先生			出 席 者	元総社南小学校 5年生34名
助 言 者	—			教材用具	パワーポイント、スライドプリント資料
協 力 者	—			記 録 者	主事 水上 智瑛
学習の概要					
①公民館より講師紹介					
②新村先生による授業					
③質疑応答及びインタビュー(3名)					
反省事項(感想及び意見)					
5年生理科の単元である「天気」と「台風」を始め防災などについて勉強した。気象予報士の新村美里先生にわかりやすく、クイズも交えながら授業をしていただいた。普段とは異なる先生が授業を行ったが、児童の反応が良く、積極的に授業に参加していた様子が見受けられた。					
アンケートからは「楽しかった」「分かりやすかった」「面白かった」だけでなく「授業で習わなかったことを知ることができる」といった内容もあった。					



○青少年体験・チャレンジ活動

元総社少年教室

整理番号	2	期日	令和6年8月10日(土)	会 場	元総社公民館 調理実習室・アトリエ
講座・事業名	元総社少年教室 おやこの食育教室			学習時間	自 10時00分 至 12時00分 計 2時間
講 師	元総社地区食生活改善推進員 森 裕美子 他10名			出席者	11人(5組)
助言者	—			教材用具	各種材料、ボウルや包丁など調理用具
協力者	—			記録者	主事 水上 智瑛

学習の概要

(1)調理実習を行う際の注意点・調理実習を行う料理・食育講話について

野菜たっぷりスープカレー、3色ナムル、フルーツヨーグルトの3品を作ることを説明。主食・主菜・副菜をバランスよく食べることが大切。規則正しくバランスよく食べることが大切。

(2)調理実習開始

スープカレー:①肉の代わりカジキマグロを使用し焼き色がつくまで焼く。②スープカレーの具を適当な大きさにカットし、カレー粉を入れてフライパンで炒める。③その後、固形コンソメをいれて、水を入れて煮込む。焼いたカジキマグロと牛乳を加えてひと煮立ちさせる。トマトケチャップで味を整え、ミニトマトを加えて完成。

3色ナムル:①きゅうりを食べやすい大きさにする。千切りにしたにんじんともやしを茹でる。②水気を切って、きゅうりと混ぜる。ごま油や砂糖、しょう油などのドレッシングとともに和えて完成。

フルーツヨーグルト:器にコーンフレークを敷き、その上に食べやすい大きさにカットしたバナナやキウイフルーツを乗せ、ヨーグルトをかけて完成。

(3)アトリエに移動して、みんなでいただきます!

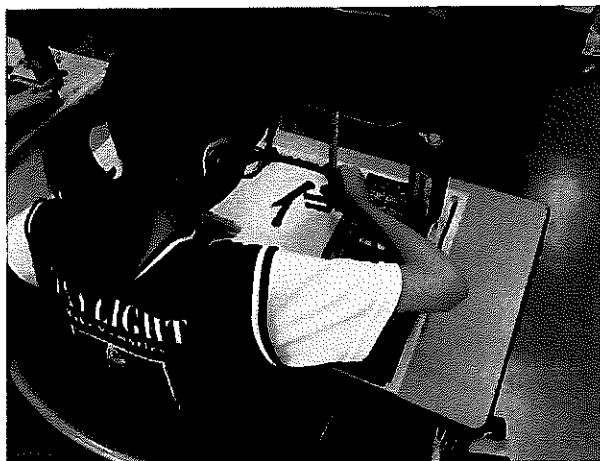
反省事項(感想及び意見) 2年連続の調理実習室を使用した講座を開催した。前回より1組増えて5組の参加だった。父親参加も2組あった。調理するこどもの様子を保護者が見守っていて、なるべく自分で調理するようにしている様子が見られた。感想では、「自分で調理し美味しく作れた」「スープカレーを初めて作ったが、簡単に作れた」という声が聞かれた。また、苦手なピーマンを食べて、完食することも見られた。「参加したい」という声も聞かれたので、次年度以降も継続して続けていく必要があると感じた。



○青少年体験・チャレンジ活動

元総社少年教室

整理番号	3	期日	令和6年8月21日(水)	会 場	元総社公民館 第2会議室
講座・事業名	元総社少年教室 夏のしゅくだいお手伝い教室～書道～			学習時間	自 10時00分 至 12時00分 計 2時間
講 師	書道 あをみ会 奥野 美代子 他6名			出 席 者	16人
助 言 者	—			教材用具	習字道具、課題文字お手本、新聞紙
協 力 者	—			記 録 者	主事 水上 智瑛
学習の概要					
①字の大きさや筆の運び方についての説明					
・漢字は大きく書くこと					
・筆の真ん中を持ち、力はいれない					
・筆と紙は垂直にする					
・肘が先に動くイメージで書く					
②練習で実際に繰り返し字を書いていく					
③11時から清書					
④うまくかけた書に学年と名前を入れる					
反省事項(感想及び意見) 夏の宿題の定番の書道の講座は、申込みの段階から定員に近い申込みがあり需要があることがわかった。					
開始後は、各テーブルにあをみ会の講師がついて、個別に丁寧に書き方のコツを教えていた。だんだん集中力が切れていくため、適宜休憩をいれるように案内を行った。					
夏休み期間中に宿題の提出期間を設ける学校があるという情報をいただいた。実施日が提出最終日だった学校もあったため、来年度は提出期間に余裕を持てるように、開催時期の検討をしていきたい。					



○青少年体験・チャレンジ活動

元総社少年教室

整理番号	4	期日	令和6年8月24日(土)	会場	元総社公民館 第2会議室
講座・事業名	元総社少年教室 フクロウとみちかな生き物を探求しよう			学習時間	自 10時30分 至 12時00分 計 1時間30分
講師	あかぎふくろう一家 川島 志保			出席者	7人(他、保護者4名も参加)
助言者	—			教材用具	
協力者	—			記録者	主事 水上 智瑛

学習の概要

①フクロウについての秘密や生態についてパワーポイント資料で説明

- ・「羽角」があるのがミミズク、ないのがフクロウ。
- ・「羽角」は耳ではない。羽が何枚か重なったものである。
- ・耳はどこにあるのか問いかける。→目の横に隠れてある、小さな音も聞こえる。
- ・野生のフクロウ:ミミズ、カエル、うさぎなどを食べる。ものによっては、ナマケモノなども食べる。
- ・飼育されているフクロウ:ひよこ、うずら、ネズミを食べる。
- ・昼間はカラスなどの天敵が飛んでいるために、夜に狩りをする。(夜行性)
- ・寿命は小型で10年、中型で15～20年、大型で30年以上。
- ・首は左右に270度回ることができる。
- ・フクロウがどこに隠れているがクイズを行う。(保護色の説明)

②アフリカワシミミズク(ヒソカ)、生後4ヶ月のにわとり(天草大王)登場し観察とふれあい(にわとりのみ)。

③フクロウやにわとりなどの鳥の標本でさわり心地の違いを知る。

④記念撮影して終了

反省事項(感想及び意見) フクロウ講座は、毎年人気の講座であり、今回も昨年に続いての参加者が複数名いた。フクロウと他の動物を見比べる講座だが、メインのフクロウよりもにわとりが目立つ講座となった。だが、両方の動物は間近で見ることがないため、実際に見て・触れたことにより、今までとは違った動物のことを知ることができたと思われる。



○青少年体験・チャレンジ活動

受験生応援！元総社学習室

整理番号	5	期日	令和6年12月26日(木)	会 場	元総社公民館 第1会議室
講座・事業名	受験生応援！元総社学習室			学習時間	自 9時00分 至 12時00分 計 3時間
講 師	地域寺子屋指導者 高井 浩子 先生、赤石 武 先生 赤石 邦子 先生、齋藤 紀寿 先生			出 席 者	元総社中学校3年生9人
助 言 者	—			教材用具	テキスト、計算用紙
協 力 者	水落 建哉先生、齋藤 明日乃先生			記 録 者	主事 水上 智瑛
学習の概要					
①公民館より企画の趣旨・講師紹介					
②各自学習時間 質問があれば、随時受け付けて対応する。(3時間)					
③終了後、アンケート記入及びキットカット(メッセージ入り)を2個ずつプレゼントして解散					
反省事項(感想及び意見)					
昨年度に続き、元総社中学校3年生のみを対象にした自習室講座を開催した。					
最初は、各々でワークなどを進めていたが、終盤になると、お互いに問題を出し合って答える様子が見受けられた。					
昨年度の反省も踏まえ、群馬大学の地域寺子屋ボランティアの学生も本講座に協力してくれた。また、以前寺子屋のボランティアをしてくれた方も協力者として対応してくれた。アンケートからも「自宅で勉強するよりはかどった」「普段の寺子屋より集中して取り組めた」など満足度が高いことがうかがえた。					
最後に企画担当者から手書きの一言メッセージ入りキットカットを渡した。年明け早々から受験が始まるといふことで、第一志望校合格に向けて頑張ってもらいたい。					



○生涯学習奨励員活動支援

生涯学習奨励員視察研修

整理番号	1	期日	令和6年10月22日(火)	会場	埼玉県深谷市・熊谷市
講座・事業名	元総社地区生涯学習奨励員視察研修 「深沢栄一ゆかりの地めぐり」			学習時間	自 8時20分 至 15時40分 計2時間33分
講師	各視察先の資料解説員やガイドボランティア、渋沢栄一アンドロイド			出席者	11人（ 一組） 奨励員10人、公民館職員1人
助言者	—			教材用具	—
協力者	—			記録者	中村徳雄
学習の概要 本研修は、(1)視察研修を通じて生涯学習奨励員の資質向上を図り、研修の成果を地域に還元、(2)生涯学習奨励員の交流を深め、地域の生涯学習の活性化を目的に実施。					
1 元総社公民館(8:20) ※マイクロバス利用(運転手付き)。					
2 尾高惇忠生家(9:25～10:00)					
ボランティアガイドの説明により、渋沢栄一との関係などを学びながら、生家の内外を見学。					
3 渋沢栄一記念館(10:02～11:00)					
体育室にて、「渋沢栄一物語」を鑑賞。資料室にて、資料解説員より渋沢栄一の功績などについて学んだ後、資料室見学。					
4 妻沼聖天山(11:30～12:15)					
ボランティアガイドの説明により、本殿の彫刻などについて学びながら見学。					
5 旧渋沢邸「中の家」(12:45～13:00)					
80歳代の渋沢栄一アンドロイドと映像により、ふるさと血洗島や仲間との思い出などを鑑賞後、主屋などを見学。					
6 元総社公民館(15:40)					
反省事項(感想及び意見) 令和元年度以来、5年ぶりの視察研修であり、また令和4年度に委嘱されてから、今回が一番長く一緒に行動して研修であった。各奨励員とも学びながら交流を深め、人となりが分かり大変有意義な研修となったと思う反面、委嘱の最終年度であることが残念に思われる。					
研修内容では、富岡製糸場の初代場長が尾高惇忠であったことや、若き日に惇忠や栄一らが、尾高惇忠生家の2階の部屋で高崎城乗っ取り計画を謀議したなど身近な話で興味が湧いた奨励員も多かったと思われる。来年度以降もどんな形であれ、奨励員同士の交流や資質の向上に向け事業に取り組んでいきたい。					



○生涯学習奨励員活動支援

生涯学習奨励員座学研修

整理番号	2	期日	令和7年1月16日(木)	会場	元総社公民館 視聴覚室
講座・事業名	『生涯学習活動がつくる地域の輪』 生涯学習奨励員活動支援(座学研修)			学習時間	自 18時30分 至 19時20分 計 50分
講師	前橋市生涯学習課 社会教育係 課長補佐 新保正夫 主事 井上乃愛			出席者	12人(一組),
助言者	—			教材用具	講師:資料、パソコン 事務局:スクリーン、プロジェクター、マイク
協力者	—			記録者	中村徳雄

学習の概要

1 ねらい (1) 研修を通して生涯学習奨励員の資質向上を図り、研修の成果を地域に還元する。

(2) 生涯学習奨励員同士の交流を深め、連携を図る。

2 概要 講座:『生涯学習活動がつくる地域の輪』(それいけ!まえばし出前講座)

(1) 前橋市の生涯学習について

(2) 前橋市生涯学習奨励員制度について

(3) 生涯学習フェスティバル・生涯学習実践研究会

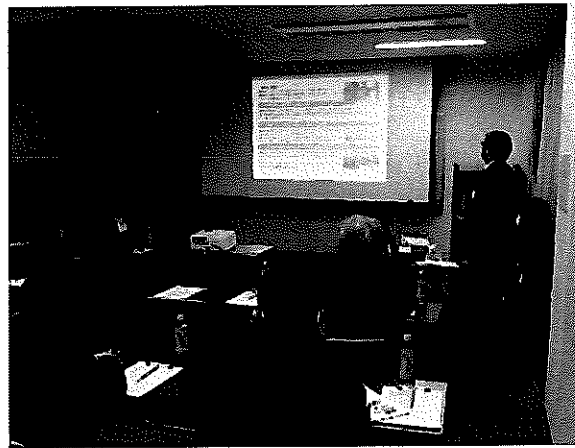
(4) 奨励員活動紹介

(5) まとめ

(6) 質疑応答(2名)

反省事項(感想及び意見)

原点に戻り、生涯学習活動について学びたいと本地区生涯学習奨励員より声が上がったため今回の研修を実施したところ、広報紙の作成が中心である本地区生涯学習奨励員は、他地区の活動取り組みに大変驚いていた。今後、各地域に持ち帰り、アンテナ高く諦めず、できることを無理のない範囲でやってくれることを期待したい。なお、毎年度、本地区生涯学習奨励員が研修内容を決定して実施しているが、今回のような内容研修は、任期1年目早々に実施できるよう助言・支援をしたい。



○自主学習グループ活動支援

リーダー研修会

整理番号	1	期日	令和7年1月23日(木)	会場	元総社公民館 ホール
講座・事業名	元総社公民館利用自主グループ連絡協議会リーダー研修会			学習時間	自 14時 至 15時10分 計 1時間10分
講師	前橋市防災危機管理課 会計年度任用職員 高橋 健一			出席者	31人(組)
助言者	—			教材用具	プロジェクター・スクリーン・パソコン・延長コード(公民館)
協力者	—			記録者	谷内田 理恵

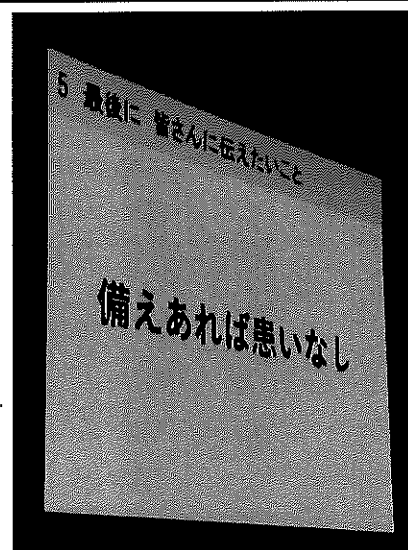
学習の概要

近年の災害状況の映像を見ながら危機管理のポイントを学ぶ。

- 1 自分の命は自分で守る～防災マップをもとに避難所を確認、防災グッズの準備等。
- 2 地域の安全は地域で守る～地域で行われる自主避難訓練に定期的に参加する必要性。
- 3 今備えなければならない災害について～古代から近代、過去100年に起こった災害について再確認し、災害に対する備えを学ぶ。今後30年以内に起こるとされている南海トラフ地震、首都直下型地震等。
- 4 前橋市の災害対応～自主避難所(市役所や公民館等)、指定避難所(元総社中学校)は、どんな時に開設され使用することになるのか、また、備蓄されているものは実際どのようなものを学ぶ。
- 5 最後に皆さんに伝えたいこと～避難所の開設について…令和元年の台風19号を例に、時系列でどの時点で自主避難所、指定避難所が開設されていたのかを学ぶ。

反省事項(感想及び意見)

関東・東北豪雨や能登半島地震などの状況を中心に、実際に起きたときの映像を取り入れた説明が行われた。河川が多い元総社地区は大雨が降り続いた場合、洪水等の災害が起こる可能性が高く、危機感を持つ受講生が多かったと思う。説明が中心の学習であったため、非常用の持ち出し袋の重要性は理解できるが、どのようなものを入れておくのが良いかを実際に「目で見せること」を取り入れた実習的要素が加わるとより良い講座になるのではと感じた。



○学び合い・人権・地域ふれあい
元総社ベテラン学習講座

整理番号	1	令和7年2月27日(木)	会場	元総社公民館 ホール
学習課題	元総社ベテラン学習講座 第1回「あなたを守る血管やわらか習慣」	学習時間	自 10時00分 至 11時30分 (計1時間30分)	
講師		出席者	29名	
		教材用具	スクリーン・プロジェクター	
協力者			記録者	剣持 はるか

学習の概要(学習した内容の概略を記入する。)

1 館長挨拶/事務連絡/講師紹介

2 スクリーンを見ながら説明を受ける。

合間に脳トレや関連したクイズ、簡単にできるストレッチ(椅子に座って、または立った状態で)。

【講義内容】・血管はつなげると地球2周半の長さがある。

・体は家庭菜園に似ている。水=血液、ホース=血管、肥料=食事でとれる栄養、野菜=臓器・体

・血管が硬くなる原因 高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙

・血管がかたく、もろくなると、心臓・脳・腎臓などの病気に

・防ぐには?—体重コントロール(運動・食事)、減塩、質の良い睡眠、体にやさしい入浴

・運動—有酸素運動・筋トレ・ストレッチを組み合わせると効果UP。インターバル速歩。など

・減塩—汁物の摂りすぎに注意。隠れ塩分に気をつける。調味料はかけるではなくつける。など

・入浴—お湯の温度は41度以下、つかる時間は10分まで。湯船の蓋を開け、浴室で服を脱ぐなど

3 アンケートの記入

反省事項(感想及び意見) 今年度は全3回通しての申込だけでなく、個別の回の申込も可とした。

3回の中で第1回が一番申込が多く、29名の申込があった。健康に対する意識の高さを感じた。今回

健康増進課の出前講座を利用し、少し時間を長くして、講義の他にストレッチもしてもらおうようお願い

したが、脳トレやクイズなども合間に入れてくれ、和気あいあいと講座が進んだ。人数が多かったので、

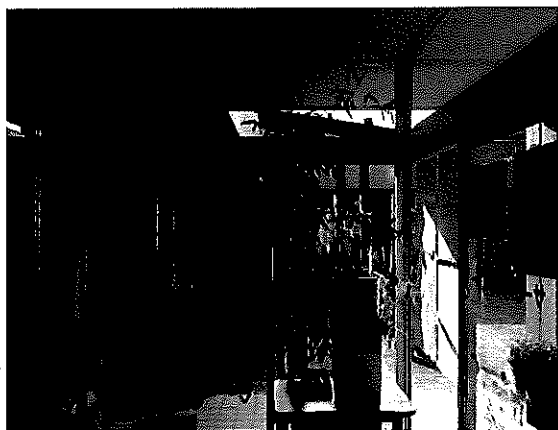
その場でするタイプのストレッチだったが、多少狭かった。今後は企画の段階で広めの会場を考えたい。



○学び合い・人権・地域ふれあい

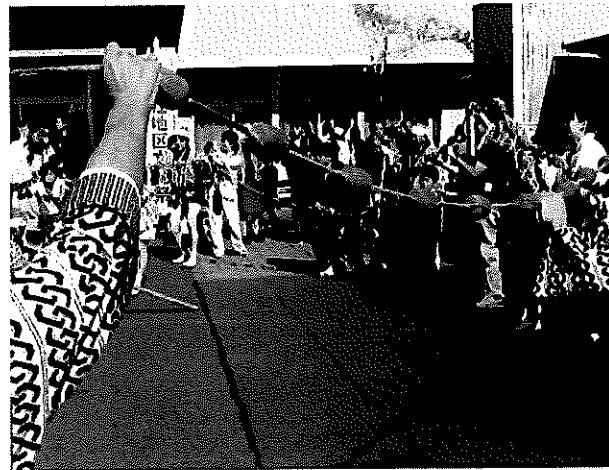
幼児と保護者のふれあい七夕短冊飾り展

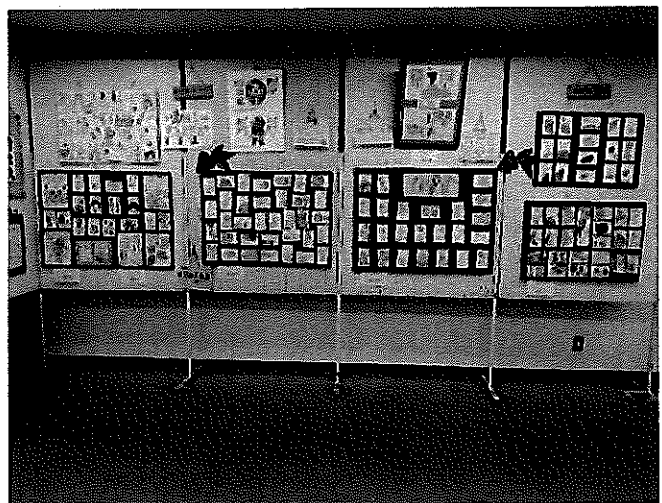
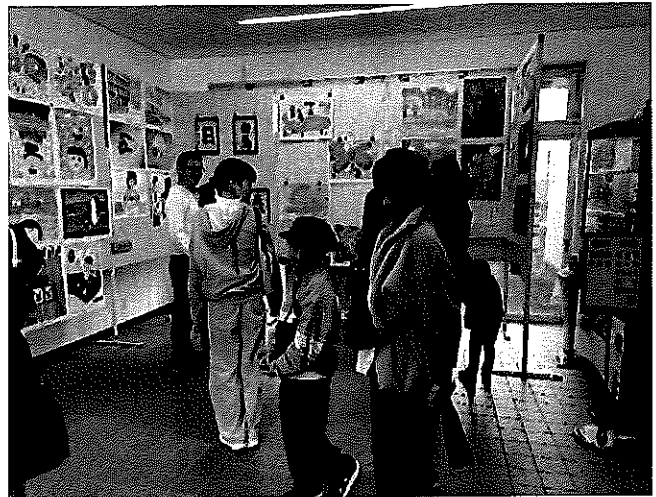
整理番号	1	期日	令和6年6月29日(土) ～令和6年7月15日(月)	会場	元総社公民館 ホールロビー窓ガラス
講座・事業名	幼児と保護者のふれあい七夕短冊飾り展			学習時間	期日内随時 計 17日間
講師	—			参加者	621人(短冊枚数) (うち来館者作成 67人)
助言者	—			教材用具	短冊用紙(青健) 笹竹(公民館) 展示雑品(公民館)
協力団体	元総社地区青少年健全育成会 元総社地区ボランティア連絡会			記録者	中村 徳雄
学習の概要					
1 ねらい 公民館へ来館した方や地区内の保育所(園)・幼稚園に通う幼児と保護者による七夕短冊の作成を通じて、①幼児と保護者の絆を深める、②発表の場を提供し、幼児の豊かな心を育む、③地域と絆を深めることをねらいとして開催した。					
2 概要 来館された方の作成短冊は、6月24日から、玄関ホールの笹竹に随時飾りつけて展示。幼児と保護者が作成した短冊は、6月29日から休館日でも中庭から楽しんでもらえるよう、ホールロビー窓ガラスを利用して中庭に向けて展示を行なった。					
3 周知方法 ①館報へ掲載、②ポスターを館内掲示、③各依頼先の保護者用に依頼兼お知らせ配布。					
反省事項(感想及び意見)					
元総社地区内にある保育所(園)、幼稚園の全て(7か所)に協力依頼を行ったところ、幼児とその保護者が協力して作成した色とりどりの七夕短冊が554枚集まった。年々幼児の人数が減っている中、今年も地区ボランティア連絡会員(5名)の協力を得ながら、公民館が休館日でも外から観られるよう中庭に向け展示を行ったところ、今年も何とか見応えのある展示が出来たように思う。					
展示期間中、多くの親子やその家族が短冊展示を観に足を運び写真を撮っている様子を見てみると、本事業の目的のほかにも、親子等で足を運ぶ楽しい場所の提供も出来たのではないかと感じている。					
今後も多くの方々に足を運んでもらえるようもっと創意工夫をすると共に、小学校低学年にも広げていくことも検討していきたい。					



○文化祭

整理番号	1	期日	令和6年11月9日(土) ～令和6年11月10日(日)	会場	前橋市元総社公民館 玄関ホール、各部屋、廊下、駐車場等
講座・事業名	第39回元総社地区文化祭 【文化祭事業】			学習時間	延べ2日間
講師	—			来場者	延べ2,473人
助言者	元総社地区文化祭実行委員会メンバー			材料費	模擬店・体験学習の材料費等
協力者	元総社地区文化祭実行委員会メンバー			記録者	中村 徳雄
学習の概要					
1 ねらい 地域住民の学習・文化活動ならびに伝統芸能の継承活動等の成果発表を通して、地域の芸術文化の振興と向上を図り、併せて地域住民の連帯感を深めることを目的に開催。					
2 概要 1日目は「こどもを中心とした文化祭」ということで、作品展示のほか、元中吹奏楽部の演奏や地区伝統芸能の披露、こども達を対象とした体験学習教室、模擬店を出店し、2日目は「おとなを中心とした文化祭」ということで、作品展示のほか、公民館や地域で活動するグループによる舞台発表やキッチンカーの出店を行った(詳細については、別紙資料のとおり)。					
3 周知方法 ①公民館報への掲載、②ポスター館内掲示、③各自治会の掲示板へポスター掲示依頼、④文化祭のプログラムの全戸配布及び図書館分館内及び本館内掲示・設置、⑤地区4小中学校及び保育所・幼稚園の全児童・生徒などへこども広場チラシ配布、⑥地区4小中学校の全児童・生徒へこども広場をチラシタブレット配信。					
反省事項(感想及び意見)					
今年度は開催が延期となり、参加できない団体や開催できない催しがあったものの、2日間と天候に恵まれ、特に、元中吹奏楽部の演奏やこどもを対象とした体験学習教室の開催及び模擬店の出店協力が得られたため、延べ2,473名の方が来場し、昨年よりも賑わいを見せた。やはりこども達が興味を持ち、参加しやすい催しがあると多くの方が来場してくれることを実感した。					
作品展示では、公民館利用団体19団体と4名の一般の方が各会場を飾り、またホールで行われた舞台発表では、公民館利用団体13団体と自治会推薦の5団体が日頃の成果を発表し会場を盛り上げ、地域の芸能文化の振興と向上、地域住民の連帯感を深める一つの行事になったと思う。次回は、地区3小学校の合唱参加の協力が得られる開催日程を検討する等、今年の反省点を少しでも改善していきたい。					





②令和6年度事業費等の状況（決算見込み）

1 講座学級等の事業費（講師謝礼等）

地域ふれあい事業	3,000円
プレイルーム元総社	26,400円
少年教室	40,050円
ベテラン学習講座	7,200円
子育て・親子支援講座	21,500円
自主学習グループリーダー研修（無料）	0円
文化祭開催事業（※実行委員会助成）	110,000円
生涯学習奨励員研修（無料）	0円
公民館運営推進委員会等	15,000円

合 計	223,150円
※その他、消耗品等	295,295円

2 公民館運営費

消耗品費等	193,547円
社会参加費	8,500円
通信運搬費	24,950円

合 計	226,997円
-----	----------

※修繕、補修費については生涯学習課予算。＝1,135,200円

内訳：	図書館元総社分館エアコン修繕	682,000円
	屋根防水修繕	178,200円
	ホール照明器具修繕	143,000円
	男子トイレ手洗水栓修繕	77,000円
	図書館元総社分館返却ポスト修繕	55,000円

③公民館の利用状況

1 利用件数及び利用人数 (令和2～6年度、6年度は2月実績まで)

年度	一般利用 (有料)		一般利用 (免除)		主催事業		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
2	298	3,240	1,049	13,488	33	615	1,380	17,343
3	322	3,787	1,199	16,114	28	1,925	1,549	21,826
4	433	5,207	1,596	27,373	43	1,626	2,072	34,206
5	553	7,586	1,812	36,841	75	5,773	2,440	50,200
6	639	7,623	1,725	28,198	106	4,537	2,470	40,358

2 令和6年度：月別利用回数及び利用人員 (2月まで)

月	利用件数及び利用者数							
	有 料		免 除		主催事業		計	
	件数	参加人員	件数	参加人員	件数	参加人員	件数	参加人員
4月	54	700	115	1,705	1	6	170	2,411
5月	46	608	174	2,466	1	15	221	3,089
6月	57	609	175	2,203	2	44	234	2,856
7月	67	1,048	139	1,791	3	39	209	2,878
8月	61	732	100	1,537	8	188	169	2,457
9月	58	530	160	2,056	3	74	221	2,660
10月	54	591	206	5,717	11	61	271	6,369
11月	71	811	163	2,152	50	1,904	284	4,867
12月	55	674	124	1,570	23	2,066	202	4,310
1月	54	650	165	2,001	2	73	221	2,724
2月	62	670	204	5,000	2	67	268	5,737
3月	—	—	—	—	—	—	—	—
計	639	7,623	1,725	28,198	106	4,537	2,470	40,358

3 団体種別利用 (令和3～6年度)

(6年度は2月まで)

団 体	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件数	利用人数	件数	利用人数	件数	利用人員	件数	利用人員
公共団体	465	5,877	535	11,853	598	20,209	619	13,026
青少年団体	33	498	29	669	23	280	10	121
女性団体	10	219	16	312	33	623	30	498
成人団体	990	13,100	1,412	19,414	1,681	22,945	1,677	21,877
高齢者団体	6	77	11	141	11	219	9	165
主催事業	28	1,925	43	1,626	75	5,773	106	4,537
企業その他	17	130	26	191	19	151	19	134
合 計	1,549	21,826	2,072	34,206	2,440	50,200	2,470	40,358

4 部屋別利用

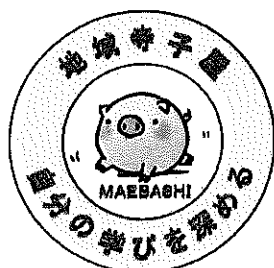
部屋名	令和5年度			令和6年度2月まで		
	件数	利用人員	利用料金	件数	利用人員	利用料金
ホール	598	22,251	1,138,360	596	19,347	1,130,000
和室(1・2)	698	10,916	133,240	667	6,740	123,180
会議室(1・2・3)	655	9,403	273,240	750	8,824	305,890
視聴覚室	258	3,946	122,640	232	3,253	106,360
料理実習室	24	297	8,050	28	524	8,560
アトリエ	207	3,387	103,440	197	1,670	96,020
合 計	2,440	50,200	1,778,970	2,470	40,358	1,770,010
(有料団体計)	(533)	(7,586)	(273,880)	(639)	(7,623)	(358,390)

5 陶芸窯実費徴収金額 (6年度は2月まで)

	令和5年度	令和6年度
件 数	9	9
金 額	17,070	17,070

④各種団体活動事業

団体	月日	事業内容等	参加対象	人数	会場
各実行委員会	10/ 6 (日)	市民運動会	地区住民	2, 000	元総社小学校
	11/ 9 (土) 10 (日)	文化祭	地区住民	2, 473	元総社公民館
	12/15 (日)	のびゆくこどものつどい・ ふれあいの広場 ※ふれあいまつり、子どもを明るく育てる活動含む	地区住民	1, 800	元総社公民館
体育推進委員会	5/26 (日)	グラウンドゴルフ大会	地区住民	170	元総社北小学校
	6/23 (日)	スマイルボウリング大会	地区住民	110	元総社小学校
	11/10 (日)	ソフトバレーボール大会	地区住民	90	元総社中学校
	12/ 1 (日)	西部地区ソフトバレーボール 大会	元総社・総社・ 清里・東地区代表	30	第六中学校
	12/ 8 (日)	軽スポーツ教室 (ボッチャ、モ ルック)	地区住民	60	元総社公民館
老人クラ ブ連合会	7/31 (水)	老連輪投げ大会	地区老連会員	54	元総社公民館
地域づくり協議会	5/12 (日)	モルック講習会	福祉・交流部会 体育推進委員会	50	元総社北小学校
	5/19 (日)	防災セミナーⅠ	安全安心部会 自治会役員 女性防火クラブ 地区住民	90	元総社公民館
	7/ 7 (日)	三世代交流ディスコン大会	福祉・交流部会 地区住民	70	元総社中学校
	11/17 (日)	歴史・文化ウォーク	歴史伝統部会 地区住民	30	石倉町上石倉 公民館
	11/24 (日)	防災セミナーⅡ	安全安心部会 自治会役員 女性防火クラブ 地区住民	90	元総社公民館
	1/26 (日)	元総社郷土かるた大会	歴史伝統部会 地区住民	100	元総社公民館



事業説明

前橋市教育委員会では、家庭や学校と連携しながら地域で子供を育てる取組の一環として「地域寺子屋事業」を平成28年度より実施しています。この事業は、地域の公民館等で中学生の自主学習を支援することで、生徒が自分の学力を伸ばせるようにするとともに、生徒の主体性や社会性を育むことをねらいとして行っています。

実施会場・開催曜日 (19会場)

第一中学校 【月・木】
〈会場〉一中地域活動室

みずき中学校【月・木】
〈会場〉三俣町投票所

第三中学校 【火・金】
〈会場〉総合教育プラザ

第五中学校 【月・木】
〈会場〉五中地域活動室

第六中学校 【月・木】
〈会場〉総社公民館

第七中学校 【月・木】
〈会場〉七中地域活動室

明桜中学校 【月・水】
〈会場〉明桜中地域活動室

桂萱中学校 【火・木】
〈会場〉桂萱公民館

芳賀中学校 【月・木】
〈会場〉芳賀公民館

元総社中学校【月・木】
〈会場〉元総社公民館

東中・箱田中【火・金】
〈会場〉旧東公民館

南橋中学校 【月・木】
〈会場〉南橋公民館

鎌倉中学校 【月・水】
〈会場〉鎌倉中地域活動室

木瀬中学校 【月・木】
〈会場〉永明公民館

荒砥中学校 【月・木】
〈会場〉城南公民館

大胡中学校 【月・木】
〈会場〉大胡支所

宮城中学校 【月・水】
〈会場〉宮城公民館

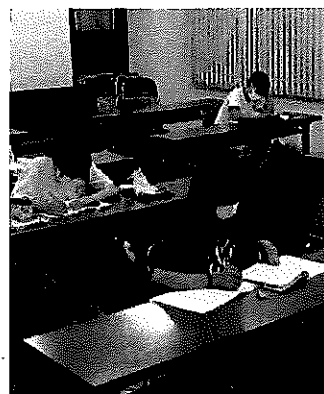
粕川中学校 【月・木】
〈会場〉粕川公民館

富士見中学校【月・木】
〈会場〉富士見公民館

○授業日の放課後に、週2回3時間*開催します。 ※季節や学校の予定により、変更することがあります

○対象はすべての中学生で、登録した生徒は開催時間のうちの希望の時間帯に、学校帰りに会場に立ち寄って学習することができます。

○実施会場に指導者と地域サポーター・大学生ボランティアを配置し、中学生の自主学習を支援しています。生徒は自分の課題に応じて、自主学習に取り組みます。



令和6年度 地域寺子屋 (元総社公民館)

参加生徒数

【1学期】

5月								計
実施日	5/9	5/13	5/16	5/20	5/23	5/27	5/30	7回
参加人数	60	42	47	40	40	31	38	298人

	7月				計
	7/1	7/4	7/8	7/11	
実施日					4回
参加人数	17	14	13	28	72人

6月										計
	6/3	6/6	6/10	6/13	6/17	6/20	6/24	6/27	8回	
	33	47	36	42	43	23	9	28	261人	

1 学期	延べ人数	開催回数	1回あたり 参加者数
	631人	19回	33.2人

【2字型】

9月							計
実施日	9/5	9/9	9/12	9/19	9/26	9/30	6回
参加人数	12	16	27	28	30	34	147人

11月								計
実施日	11/7	11/11	11/14	11/18	11/21	11/25	11/28	7回
参加人数	34	34	23	10	21	14	25	161人

10月						計
10/3	10/7	10/10	10/17	10/21	10/24	10/31
21	14	30	29	18	32	33
						7回
						177人

12月					計
12/2	12/5	12/9	12/12		4回
17	22	16	33		88人

2 学期	延べ人数	開催回数	1 回あたり 参加者数
	573人	24回	23.9人

【3学期】

	1月					計
	1/9	1/16	1/20	1/23	1/27	
実施日						6回
参加人数	14	15	10	21	11	16 87人

2月		計				
2/3	2/6	2/10	2/13	2/17	2/20	2/27
11	13	13	17	20	12	10
						7回
						96人

3 学期 (1月現在)	1回あたり 参加者数	14.1人
延べ人数	開催回数	13回
183人		

令和6年度(5月~2月)

实施回数

参加のべ人数

56回

1,387人 1回あたり平均 24.8人

(2) 令和7年度元総社公民館の運営について

1 目的

公民館は、地域を基盤とした社会教育施設であることをふまえ、本公民館においても、地域性を反映した公民館運営を進めていく。また、地域住民が学習を通じて互いに連携し、地域に対する理解を深め、学んだ成果を地域で発揮していくことにより地域づくりが進められるよう務める。

2 来年度の重点施策

来年度の元総社公民館における重点的な施策は以下のとおり。

(1) 子育て・親子支援

本地区は、アパート、寮、公務員宿舎などが多く、比較的他市からの転勤者が多い地区である。潜在的に子育てに困っている保護者が多いことから、家庭教育に関する事業を実施し、子育て環境の充実を図る。

①元総社すこやか学級やベビープログラム、子育て支援講座などの主催事業を開催する。

②元総社地区ボランティア連絡会と保健推進員会との共催で子育てサロン「かえるっ子」を支援する。

③公民館で活動している子育て団体の育成、支援を行う。

地区住民を対象とした子育て支援講座を開催し、新たな人材の育成に努め、託児ボランティア活動の次世代の担い手に繋がる掘り起こしを継続的に行っていく。

(2) 青少年体験・チャレンジ活動

青少年関係団体等と連携した様々な事業の支援や少年教室などの主催事業を実施し、青少年の野外集団活動・創作活動・地域行事などへの参加を促進し、少年期の健全なる心身の発達を図る。具体的に下記の事業を実施する。

①のびゆくこどものつどいなどのイベントを通じて、地域の子どもたちの社会参加と世代間の交流を促進する。

②少年教室を実施し、子どもの情操や社会性を培い地域に対する愛着を深める。夏休み期間中に複数回集中開催できるよう、時期を調整する。

③ボランティア連絡会と公民館との共催事業で、幼少期から少年期にかけた児童を対象とした「プレイルーム元総社」を実施し、世代や学校区を越えた交流を図り、子どもの豊かな心を育む。

(3) 生涯学習奨励員活動支援

生涯学習奨励員の活動支援・推進のため、各種の研修会や講座を設ける。

①視察研修

前橋及び近隣の地域の歴史遺産を視察し交流と研鑽を深める。

②出前講座を活用した研修会

市の出前講座を活用して、共通の学びを通じた研鑽を高めるとともに交流を図る。

(4) 自主学習グループ活動支援

自主学習グループ会員相互の親睦を深める事業を実施するとともに、各グループの学習成果を地域に還元する取り組みを支援する。

(5) 学び合い・人権・地域ふれあい

住民同志の交流や支えあい、歴史や伝統文化の継承など、多面的に講座を開催し、住民の主体的な地域づくりの取り組みを支援する。

①ベテラン学習講座

健康づくりや豊かなライフスタイル、また元総社地区の大切な歴史資源について学ぶ講座を実施し、地域住民として郷土を愛し心豊かな生活を営むための知識を得る。

②人権教育

地区内小中学校の生徒・児童が作成した人権教育に係る作品を、広く周知・提供することにより、人権意識の向上と啓発を図る。

③幼稚園、保育園（所）との連携

公民館と園、保護者との連携事業が少ないため、七夕飾りへの協力を通じて連携が切れないようにしている。

④文化祭

公民館の自主グループの日頃の学習成果の発表の場である地区文化祭を開催する。併せて地域の各種団体が出し物・出店を文化祭の中で実施し、地域の一大イベントとして、住民の交流や活性化を図る。

また、総社神社太々神楽や上宿町獅子舞、大友町百万遍などの郷土芸能の発表コーナーを設け、幅広い年齢層が郷土の歴史に触れ、郷土に愛着を持ち、主体的に地域づくりに参加する姿勢を醸成する。

3 地域他団体との連携と問題点について

その他、自治会連合会の地域づくり協議会などが主催し、学校や関係団体が参加する防災、健康、福祉など、多くの活動に引き続き協力し、地域と連携しながら、地域の発展に貢献していきたい。

一方で、今まで地域活動の中心を担っていた方々が年々少なくなるとともに、現役世代や子育て世代が地域活動に消極的であるなど、地域活動における人員確保や担い手不足などにより、自治会や関係団体の安定した運営が難しくなっている状況が散見される。

(3) 優良公民館文部科学大臣表彰(表彰式:令和7年2月28日)

公民館等の社会教育活動を行う施設のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献しているものに対し、文部科学大臣が表彰するものです。

今回は、全国で65館が受賞し、群馬県では、元総社公民館と嬭恋村東部公民館の2館が受賞しました。

元総社公民館 「こどもを核とした交流による地域づくり」

(主な活動) ※令和5年度実績

- ・地元のボランティアサポーターの協力を受け、幼児から児童を対象にした体験活動の場として、「プレイルーム元総社」を実施。文化的な活動や工作を通し、こどもの豊かな心を育んでいる。
- ・地元関係者が参画し、「元総社少年教室」を実施。夏休みに「朝ごはん講座」「しゅくだい講座」「フクロウ講座」、冬休みに「受験生応援！元総社学習室」を開催し、こどもの学びを支えている。



スポーツチャンバラ教室



マジックショーとマジック教室



夏のしゅくだいお手伝い教室



受験生応援！元総社学習室

令和6年度 元総社公民館運営推進委員会 委員名簿

任期: 令和7年6月30日 (敬称略)

No.	氏 名	所属団体・役職名	区 分	備 考
1	櫻 井 誠	元総社小学校 校長	学校教育関係者	住所・電話 は勤務先
2	平 澤 英 夫	元総社中学校 校長		
3	黒 澤 均	元総社地区民生委員児童委員協議会 会長	社会教育関係者	
4	林 悦 実	元総社地区青少年健全育成会 会長		
5	吉 江 佐登美	元総社地区体育推進委員会 会長		
6	石 井 宏 樹	元総社公民館利用自主グループ連絡協議会 会長		
7	大 関 三枝子	元総社地区ボランティア連絡会 会長		
8	奥 野 美代子	元総社地区保健推進委員会 会長		
9	水 野 渉	元総社地区自治会連合会 会長	学識経験者	委員長
10	伊 藤 茂 男	元総社地区生涯学習奨励員連絡協議会 会長		副委員長